

科目ナンバリング		U-LAS12 10007 EJ57										
授業科目名 <英訳>		物理学実験 Elementary Course of Experimental Physics					担当者所属 職名・氏名		理学研究科 教授 石田 憲二 人間・環境学研究所 物理学実験授業担当教員 人間・環境学研究所 教授 吉田 鉄平 人間・環境学研究所 教授 藤原 直樹 国際高等教育院 教授 舟橋 春彦 理学研究科 准教授 榎戸 輝揚			
群	自然科学科目群				分野(分類)		物理学(基礎)			使用言語	日本語	
旧群	B群	単位数	2単位		週コマ数	2コマ		授業形態	実験（対面授業科目）			
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月3・4/火3・4/水3・4/木3・4/金3・4			配当学年	主として1回生		対象学生	理系向	
[授業の概要・目的]												
物理学の基礎的テーマについて自ら実験を行い、実験を通して自然と物理学のより深い理解を目指すとともに、実験技術とデータの解析方法を体得する。さらに科学的報告書（レポート、論文）の作成方法を修得する。												
[到達目標]												
実験を通して物理学をより具体的に理解する。 実験技術とデータの解析方法を学び、自ら実験を進められるようになる。 実験ノートが記述でき、実験レポートが作成できるようになる。												
[授業計画と内容]												
以下の課題の中から7～10課題について実験を行う。1回2コマの時間で1課題の実験を行い、ガイダンス、レポート指導、予備実験日、フィードバックなどを含めて全15回の予定である。一部の曜日では実験結果についてのプレゼンテーションを実験の翌週に行う。												
<力学分野> 1. フーコー振り子の実験 2. 連成振動の実験												
<電磁気学分野> 3. 電気抵抗の測定 4. ホール素子による磁場の測定 5. オシロスコープによるインピーダンスの測定 6. 熱電子放出に関する実験												
<熱力学分野> 7. 熱電対による温度の測定												
<光学分野> 8. レーザー光を用いた実験 9. 回折格子による光の波長の測定												
<原子・量子力学分野> 10. プリズム分光器による原子スペクトルの測定 11. フランク・ヘルツの実験 12. 光電効果によるプランク定数の測定												
----- 物理学実験(2)へ続く↓↓↓ -----												

物理学実験(2)

13. 身の回りの放射線—どこからどれくらいくるのか—

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

実験の実施と実験報告書に基づき評価する。詳しくは初回ガイダンス時に説明する。

[教科書]

京都大学大学院 人間・環境学研究科 物質相關論講座

京都大学国際高等教育院 共編

『物理学実験 2023』 (学術図書) ISBN:978-4-7806-1113-7

[参考書等]

(参考書)

なし

(関連URL)

<http://tyoshida.h.kyoto-u.ac.jp/physlab/Foucault.mp4>(物理学実験「フーコー振り子」の説明動画)

<http://tyoshida.h.kyoto-u.ac.jp/physlab/CoupledOscillation.mp4>(物理学実験「連成振動」の説明動画)

http://tyoshida.h.kyoto-u.ac.jp/physlab/franck_hertz_experiment.mp4(物理学実験「フランク・ヘルツの実験」の説明動画)

http://tyoshida.h.kyoto-u.ac.jp/physlab/Plank_Constant.mp4(物理学実験「プランク定数の測定」の説明動画)

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回の実験テーマについて、教科書を読んで予習しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

初回ガイダンス（講義形式）での出席表に基づいて班編成を行うので、掲示（4月上旬）に注意して必ず出席すること。ガイダンスでは、実験の進め方、全体のスケジュール、レポートの作成および提出に関する注意点などの説明も行う。

「学生教育研究災害傷害保険」等の傷害保険へ加入すること。